

## ＣＳＰも新機械警備システム「Ｓ-２１」などを紹介 「ＪＲ東日本技術企業の会」の報告展示会

ＪＲ東日本技術企業の会(会長・芳賀恒雄東日本トランスポートック取締役相談役)による「技術報告会・展示会」がＪＲ東日本本社で開かれ、ＣＳＰも参加しました。

報告会は、ＪＲ東日本に関連するグループ会社などが一堂に会して、各社が開発した最新の技術・機器を紹介するもので、今年で５回目になります。

11社が参加した報告会にはＣＳＰも加わって、伊藤賢二情報システム部長が、ＣＳＰで開発し、現在、社内で切り替え作業が進行中の新機械警備システム「Ｓ-２１」の説明をしました。

伊藤部長は、分かり易く警備の仕事内容から入って、従来の機械警備システムを紹介。さらに、「Ｓ-２１」を開発するに当たったの命題、システム構成などを短時間で手際よく説明し、最後に「ＣＳＰは『お客様に愛され、選ばれる企業』へとステップアップし、広範囲な警備分野に取り組んで参ります」と結びました。

会場前のホールでは、参加企業の開発成果物の展示も行われ、ＣＳＰからは車両位置検索システム「モバイルガードＣ」が展示され、担当者が説明に追われました。



「「Ｓ-21」の説明に当たる伊藤部長」



「「モバイルガードＣ」の展示では説明員が対応に追われた」